

下郷町立下郷中学校

教科名等：社会（公民的分野）
単元(題材)名：「男女共同参画社会の実現」
学 年：第3学年

実施状況

11月2日（火）に公開し、地域の方や保護者、教育委員会職員など、多くの方々に参観していただきました。

本時では、男女共同参画社会が本当に実現できているのか、また、さらに実現していくためにはどうすればいいのかを考えさせました。

まず、「男は外で仕事、女は家で家事、育児」という言葉についてどう思うか、と問うことで男女共同参画社会を考えさせるきっかけとしました。最初に男女共同参画社会とは「男女がともに責任・役割を分担し、性別にかかわらず個性や能力を発揮できる社会」であることをとらえさせました。その上で自分たちの身の回りではその社会が実現できているのか、考えさせました。生徒の大部分は実現できていると答えていました。次に数人の女性にインタビューした内容を生徒に提示し、それを聞いた後で、男女共同参画社会が実現できているのか、再び考えさせました。そうすると、全員が実現できていないと答え、考えに大きな変容が見られました。さらに深めるためにグループ学習を取り入れ、「今よりももっと男女共同参画社会実現を進めるための方策」をみんなで考え、意見をまとめることができました。大切なことは育児においての施設面の充実と、男女が互いに助け合い協力していくことであると気づいたようです。

生徒の感想

- ・ 女性の方が男性に比べると負担や役割が多いということに気づいた。
- ・ 育児、家事もそれぞれが協力していくことが必要であり、家族の支えがなによりも大切であることに気づいた。
- ・ 女性も子育てをしながら自分の能力を発揮できるような世の中に早くなってほしい。



参観者の感想

- ・ 論理的には男女共同参画の意義をとらえることができた。
- ・ 最初は男女共同参画社会が実現できていると思っていたようであるが、授業の途中には男女共同参画社会が実現できていないということに身近な例をとおして気づくなど意識に変化が見られ、男女共同参画社会を考える上で大きなきっかけとなったと思う。
- ・ 子どもたちの方が大人よりも男女共同参画社会を素直に受け入れていると感じた。

指導者の感想

本授業を通して生徒たちは男女共同参画社会の実現はまだだであるということがわかったと思います。

そして、その社会の実現は現代社会にとって必要不可欠であると認識し、国や私たち一人ひとりが意識して取り組んでいかなければならないということに多くの生徒が気づくことができたと思います。さらに今後どのような努力が必要であるかについても話し合い活動を通じて確かめ合うことができたと感じています。

